

ふてしこ

5 '20 No.294

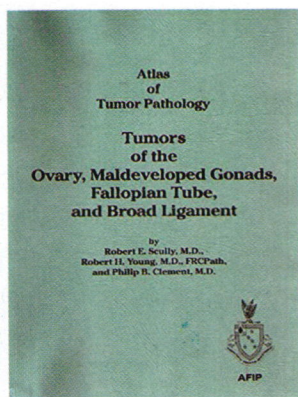
巡回通信誌



ずいほうしょうじゅしょう
瑞宝小綬章

名誉院長 西 田 敬

こんな有難い賞が戴ける、朗報は外科学会会長から齎された。
ところで、今回の本題は oogenesis と gametogenesis (卵形成と配偶子形成)。



卵生動物の胎内伝達物質(体温) ⇒男女の出生前判定 胎児の性別と 卵の incubation temperature

この頑なさは、幾ら男女同権を叫んでも、揺るがない。如何、鼻眞目に見ても、此の世は、矢張り男系社会と云わざるを得ない。皇族を始め、世の御世継は男子優先で選択されて居る。あれほど喧しかった、女系天皇の是非や奈何論争も秋篠宮家男子、御懐妊の通知で消し飛んでしまった。出生前の雌雄判定が厭応なく迫られる。然らば男子優先で産み分けるか！その手段は？

Eureka！閃いたゾ！黄金製の王冠の純度の鑑定を命じられた Archimedes が風呂桶から跳び出して叫んだ言葉。五右衛門風呂で水風呂に浸かれば、男性なら察しが付く筈！青天の霹靂。同じ体積でも純金の方が重い！比重の原理が氷解した。紀元前 200 年ごろの事件。21 世紀の今日、出生前診断、先ずは男女の鑑別。解決の鍵は反応時の気温にあり！決め台詞は、Eureka！（ユリーカ！）！瑞宝小綬章の飛び入りで中途半端の感は否めないが、捲土重来、再出を期す。

